

みうらトーク&トーク 第1弾

日 時 平成19年5月31日（木） 15時45分から16時30分

参 加 者 アシスト・オール金原 9名 市側 9名

テ ー マ 三浦市のクリーンアップについて

団 体 アシスト・オール金原

団体の紹介 青色パトロール車による自主防犯パトロールや徒歩によるごみ拾いを兼ねた自主防犯パトロールを始め市内の安全・安心感を得られるような取組みに貢献している。

そ の 他 今回は、トーク&トークを開催する前に約30分間、ごみ拾いを兼ねた防犯パトロールを行なった。



トーク&トークの前のごみ拾いを兼ねたパトロール

内 容

資料に基づき説明（環境部）

意見交換

（市 長）

今回のテーマは、三浦市のクリーンアップということです。

現在、市では、クリーンアップ事業を行っています。

お金をかけない事業をするために民間の企業が行なっている社会貢献活動と一緒にを行っています。

この活動の場所は、ほとんどが海岸の清掃が主流で行われています。

そういったところの環境美化を企業と一緒にいき、広く広報活動し、市外からも多くの人に集まっていただき、楽しみながら、散歩しながらのイメージでごみ拾いをやってもらうという事業を展開しています。

先ほど、環境総務課から説明があったように、担当の職員が企業へセールスを行ない、結果も出ています。

そのほかに不法投棄では、現在、不法投棄の監視強化を図っている時期でもあり、減量推進課の方



トーク&トークでの意見交換

で監視パトロールを強化しているところです。

不法投棄の問題については、今後、何とかしないといけないと思っています。

当たり前前に市をきれいにしたいという気持ちは、市もみなさんも持っていると思います。

それを、楽しく、でもやらなくてはならないイメージづくりも併せてご意見をいただきたいと考えています。

みなさんは、防犯活動のほかにもラベンダーの会も作っていただき、きれいな街づくりに貢献していただいています。

せっかくの機会ですから、みなさんから日頃感じていらっしゃることで結構です。環境美化についてお話をお聞かせください。

(団 体)

パトロールの時にゴミ拾いを行っているが、小さなゴミは良いのですが、大きいゴミが不法投棄されているところがあります。私たちも協力するので、市のほうで回収できませんか。

(市 長)

通常は、土地の所有者（管理者）に処理してもらうことが原則です。テレビなどでゴミ屋敷の話を聞いたことがあると思います。これは、裁判所に申し立てをし、強制執行することしか出来ません。個人のために税金を使って行う訳ですからなかなか実際問題としては、難しいです。

(市職員)

基本的には、土地の所有者（管理者）の責任で行っていただきます。先ほどみなさんとごみ拾いをしたとき、ガードレールの下のあるところに大きなごみがありましたが、行政がすべて取ってしまうと管理者として何の責任も果たさずに、また、まったくに問題意識がないままに終わってしまうことになります。

しかしながら、道路脇などのゴミをそのままにしておくと、ゴミがゴミを呼ぶことになったりしますので、そのような場合は市の方で処理したり、ケース・バイ・ケースで対応しています。

今回の場合は、なるべく早く取りたいと思います。

(市 長)

不法投棄を発見した場合は、まず、市に連絡をいただき、市は、所有者を調べ、所有者に話をします。

捨てられないようにすることが大事ですが、誰でも自分の敷地内にゴミがあるのは嫌だと思います。先ほど、みなさんも協力していただけるという話もいただいておりますので、対応したいと思います。

(市 民)

今の時期、草木が生い茂っているので不法投棄がしやすいので、パトロールをお願いしたいです。

(市 長)

パトロールの現状は？

(市職員)

一つは、現在に市にパトロール隊というのがありまして、定期的なパトロールにより市内各所、県道・市道を問わず、パトロールを実施し、併せて散乱ごみ等の清掃を行っています。

また、もう一つは、ごみ収集員により、収集業務の合間などの時間を使って、不法投棄物の撤去及び散乱ごみの清掃を行っています。

なお、この辺では、今日回れませんでした。上原中学校校庭上の市道火葬場線などは、特に散乱ごみがひどく、何度清掃しても、「また捨てられる」ということが繰り返えされており、大変困っています。ただ、パトロール隊については、散乱ごみに気付いたり、通報があると直ぐに対応していますので、結構効果は出ていると思います。

(団 体)

私たちのゴミの収集場所に車の窓からゴミを捨てていく人がいます。道路に捨てられるよりは、良いと思い私たちが分別しています。

(市職員)

悪質のものは、ナンバープレートを抑えてみてはどうでしょうか。

(団 体)

いつ、捨てていったのかなかなか分からない。

道路に捨てられるよりは、良いと思っていますが、私たちが、出したゴミと勘違いされるのが嫌です。

(市 長)

ゴミは、きれいなところには捨てないので、そのような環境づくりを目標にしています。

きれいで、逆に捨てることをためらうようなまちづくり環境に力を入れています。多少であります。意識づくりも浸透していると思います。

地域のみなさんの清掃活動は、多く方が行っていています。その中でも市が知らないケースもありますので、市でも把握してサポート出来る部分はしていきます。

(団 体)

ラベンダーの会の場合には、清掃したゴミは、市が収集に来てくれています。

先ほどの話ですが、畑もそのとおりできれいになっている畑には、ゴミが捨てていません。逆に草が生い茂っている畑には、ゴミは捨ててあります。

(市 長)

みなさんにお聴きしたいのは、みなさんの地域で先進的に活動を行っていただいていますので、地域のまとまりや活動を活発化するためにするために、どうしたらよいか、何かあれば教えていただきたい。

(団 体)

先ほど、きれいなところには、捨てにくいという話ですが、本当にそうだと思います。

県道だと思いますが、結構、草が生い茂っている時があるので県土木の草刈の回数が少ないのかと思います。

(市 長)

少し前ですが、三崎口の先の県道の中央分離帯に草木が生い茂っていて、ゴミが捨て放題の時がありました。県土木に対応をお願いし、きれいにしてもらったということもありました。

やはり声がないといけないと思います。

(団 体)

昨年ですが、ウィンザーハイムの前の木が2 m以上伸びていたので県土木に連絡したら、直ぐにやってくれました。

(団 体)

直接、県道は、県土木に連絡しても大丈夫ですか。

(市 長)

市の方に連絡していただいても結構です。県道だから、県土木に電話してくださいという言い方はしません。市道は、もちろん市に電話してください。

直接、県土木に連絡してくださいなど市職員が対応することがあれば言ってください。

(団 体)

今回、金原西と金原東でこのような団体が出来、交流が出来たことは、非常に良いことだと思います。

以前は、交流があったのですが、このところ交流が余りなかったので今回の団体設立により交流が出来たことは良かったと思います。

今回、市長さんも来ていただき、このことをニュース等で流してもらえれば、もっと交流が深まると思います。

(団 体)

最初は、週2回くらい防犯パトロールを行っていましたが、パトロールの際に余りにもゴミが多いのでゴミを拾い始めました。

団体の名前もアシスト・オール金原になっていますので、防犯だけやるつもりでは、ありませんでした。ゆくゆくは、地域のお年寄りの面倒をみたりすることも出来ればいいなということも思っています。現時点では、防犯のほかにゴミ拾いを行っていますが、拾っても拾ってもゴミがなくなる状態です。

他には、モラルの向上運動が必要ではないのかと思います。一般のゴミもそうですが、ポイ捨てです。

運動と結びつけられるものがないのか、車の窓からたばこをポイ捨てし、拾ってもなくなる。

ゴミ不法投棄の監視パトロール中と書いてあるものをベストに付けたいのですが、資金面でなかなか難しいのが現状です。ゴミ拾いを行っている最中は、結構、市民の方も見ているので、ゴミ不法投棄監視パトロール中とベストに付けられれば、何らかの効果があると思います。

(市 長)

他の自治体では、たばこのポイ捨て禁止の条例の罰則を設けているところもあります。現在、三浦市でもまちをきれいにする条例がありますが、夜間花火やゴミのポイ捨ての罰則はありません。

(団 体)

三浦市でもたばこのポイ捨て禁止条例をつくって、お金は、かかるが看板など立ててもらおうと良いのではないかと思います。

(市職員)

ポイ捨て禁止の看板は、設置しています。本日、県の会議に出席してきましたが、話題に挙がったのが不法投棄でした。各市もPRや監視パトロールを行っていますが、やはりモラルの問題ではないのかと思います。

取っても取っても捨てる人がいれば切りがない訳ですから、先ほど説明のなかにもありましたが、

昨年、クリーンアッププロジェクトを立ち上げ、1,700人の参加が得られました。

参加していただいている人はゴミを捨てない訳ですから、より多く参加していただいて、ゴミについて考えていただき、たばこのポイ捨ても含めモラルの向上を図っていきたいと考えています。

今年度も参加者の輪を広げていきたいと考えています。ゴミ拾いの大変さ、捨てちゃいけない気持ちをもってもらうことが大切だと思います。

(団 体)

自分で拾えば、捨てなくなることは事実だと思います。なかなか難しいと思いますが市民全体のモラルが立ち上がってこないといけないと思います。

(市 長)

アシスト・オール金原さんみたいな地域の活動が大事だと思います。例えばみうら市民やホームページに活動を載せることも一つの方法だと思います。みうら市民の掲載については、現在、研究させています。

(団 体)

私たちは、2ヶ月に一度、アシスト・オール金原ニュースを出しています。その中で、何人が見ているか分かりませんが、10人に1人でも20人に2人でも関心を持ってくれば良いのではないかと考えています。

(市 長)

本日は、ご多忙中の中ありがとうございました。今後もこのような機会を作っていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

(市担当) これでみうらトーク&トークを終了します。

※ 団体名の公表については、了解を得ております。